

平成23年度(第55期)決算説明資料

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)



平成24年7月13日

<目次>

1. 決算の概況

(1) 損益計算書、貸借対照表の概略	2
(2) 事業の取り組み内容について	3
(3) 売上高および営業利益の推移	4
(4) 品目別売上高の推移	5
(5) 収益関連指標	6
(6) 総資産・純資産	7
(7) 配当政策	8
(8) 利益配分の方針	8

2. 今後の取り組みについて

(1) 経営環境	9
(2) 諸施策	10
(3) 業績の見通し	11

1. 決算の概況

(1) 損益計算書、貸借対照表の概略

(単位:百万円)

	連 結			個 別		
	H23/3期	H24/3期	前期比(%)	H23/3期	H24/3期	前期比(%)
売 上 高	10,257	12,182	118.8	9,524	11,036	115.9
営 業 利 益	323	454	140.6	253	310	122.6
経 常 利 益	269	459	170.1	245	327	133.4
当 期 純 利 益	204	507	248.3	200	371	185.4

(単位:百万円)

	連 結			個 別		
	H23/3期	H24/3期	増減	H23/3期	H24/3期	増減
資 産	9,708	10,005	+297	9,162	9,118	△44
負 債	4,456	4,292	△164	4,089	3,719	△370
純 資 産	5,251	5,713	+462	5,072	5,398	+326
総 資 産	9,708	10,005	+297	9,162	9,118	△44

2

(2) 事業の取り組み内容について

・ 営業

- ・ 電力需給制限による節電意識の高まりを受け、当社の強みでもある高効率モータや低消費電力ポンプの販売促進を行う。

・ 製造、購買

- ・ お客様の短納期要求に応える為、新たな生産管理システムの構築を進める。
- ・ 鉄鋼材や非鉄金属、原油価格が上昇するなかで、生産性の向上やグローバルな部品調達によりトータルコストダウンを図る。

・ 研究開発

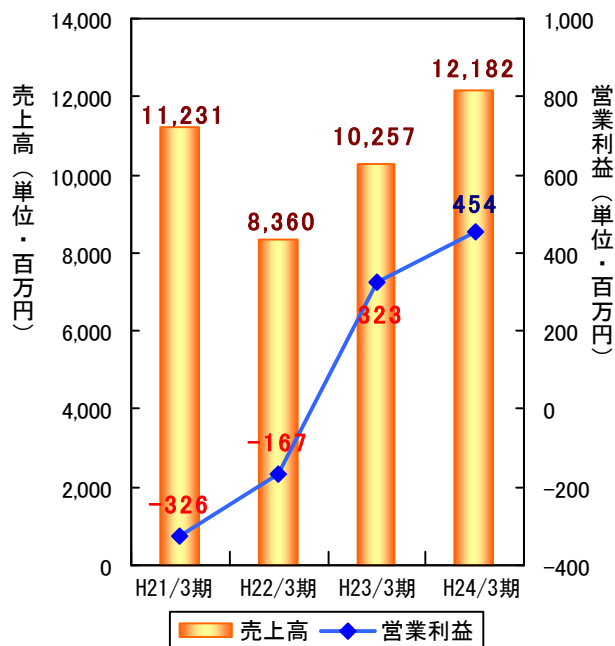
- ・ 環境にやさしい省エネ、高効率、低騒音の製品を開発
(IE3(プレミアム効率)対応の高効率モータを開発 他)
- ・ 新規用途に対応した製品開発(電波発信装置冷却用ポンプ他)

3

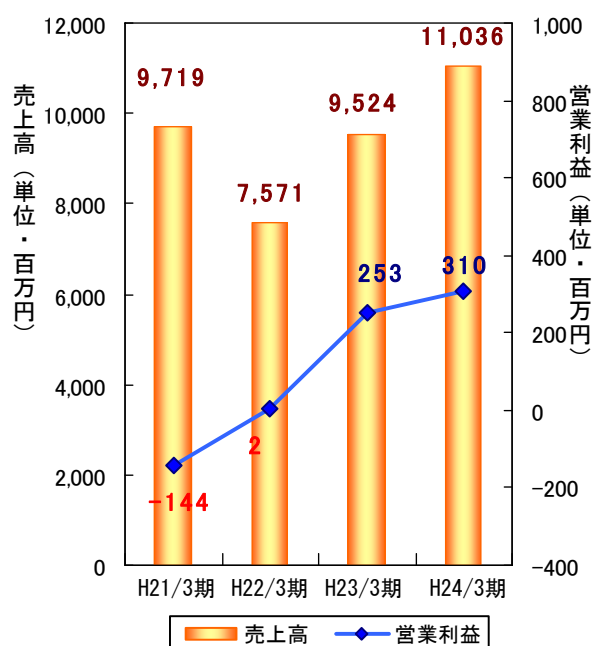
(3) 売上高および営業利益の推移

- ・ 上半期においては、好況な市場を反映し大きく受注は伸びたが、下半期においては一転して厳しい受注状況となるが、前年同期比では大きく売上高は増加
- ・ 営業利益においては、売上高の増加要因により増益となる。

【連結】



【個別】

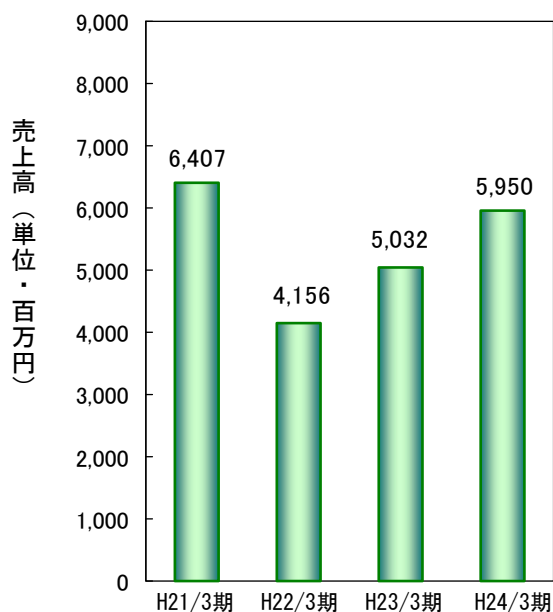


4

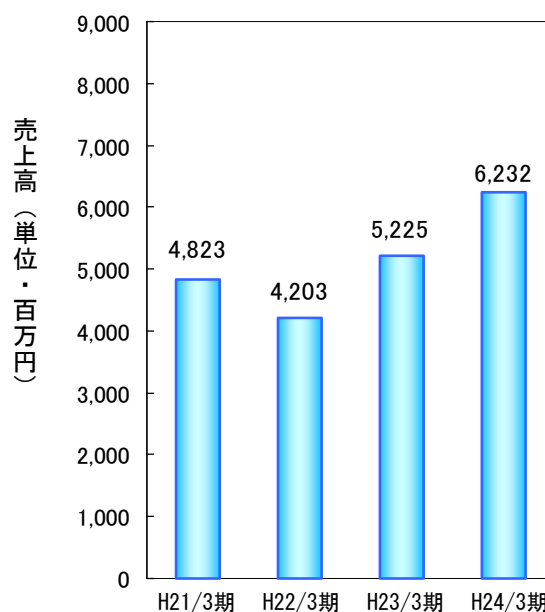
(4) 品目別売上高の推移(連結)

- ・ モータでは、工作機械用モータおよび、エアコン用IPMモータの受注が伸びる。
- ・ ポンプでは、東日本大震災以後、一時的に給水ポンプや水中ポンプの受注が増加。

【モータ】



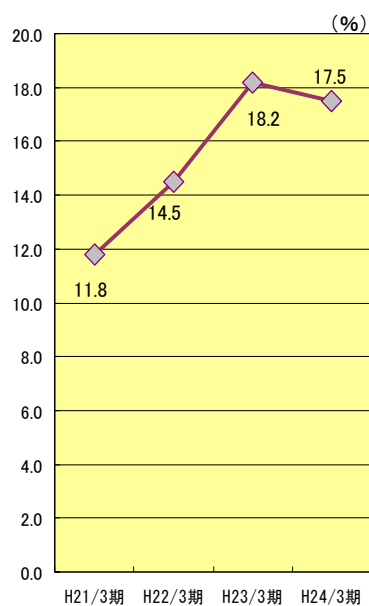
【ポンプ】



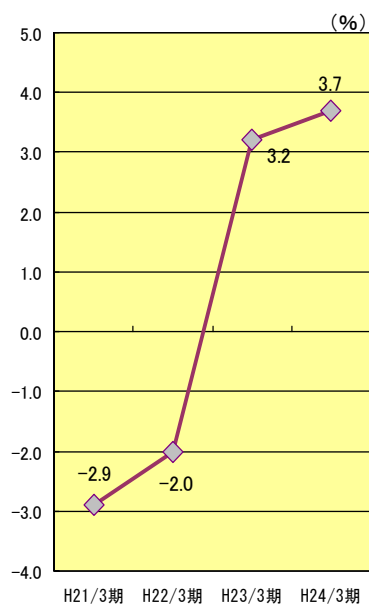
5

(5) 収益関連指標(連結)

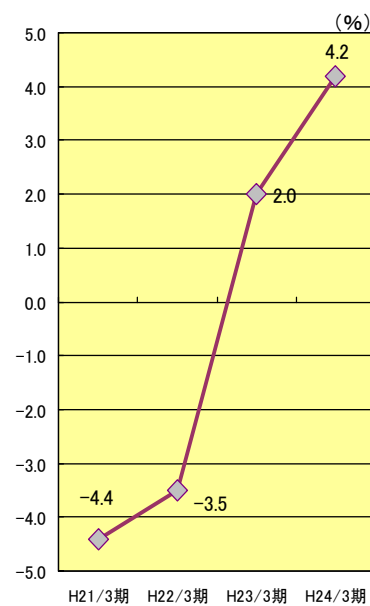
売上総利益(率)



営業利益(率)



当期純利益(率)

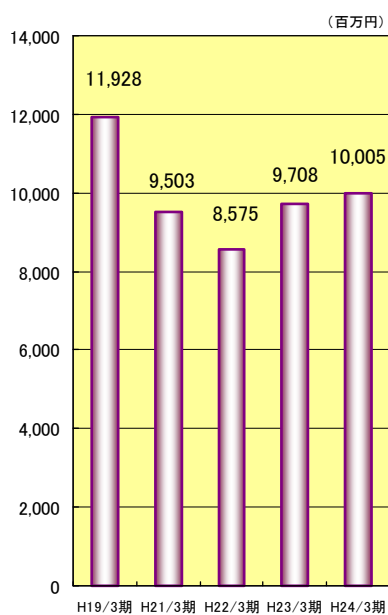


6

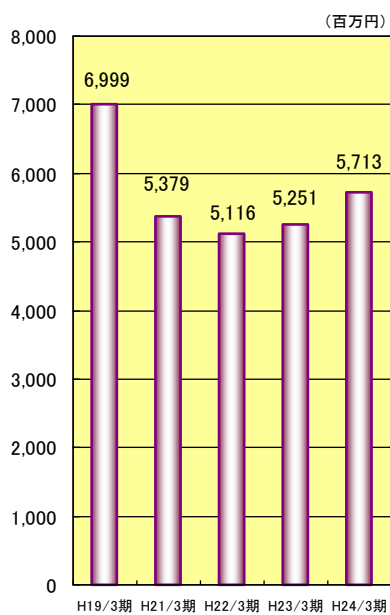
(6) 総資産・純資産(連結)

- ・ 資産は受注増加により流動資産の受取手形及び売掛金、たな卸資産が増加
- ・ 負債は借入金が増加したものの、支払手形及び売掛金、退職給付引当金が減少
- ・ 純資産は利益剰余金が増加

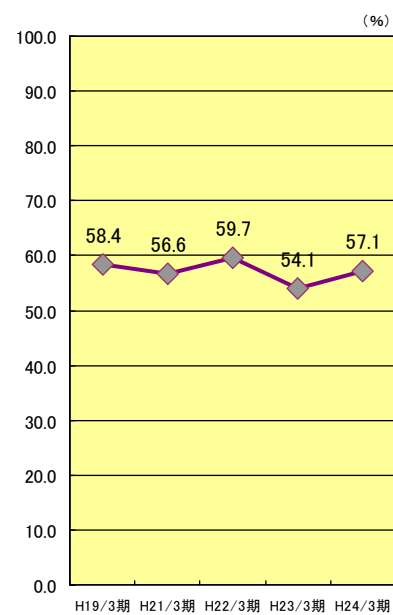
総資産



純資産



自己資本比率



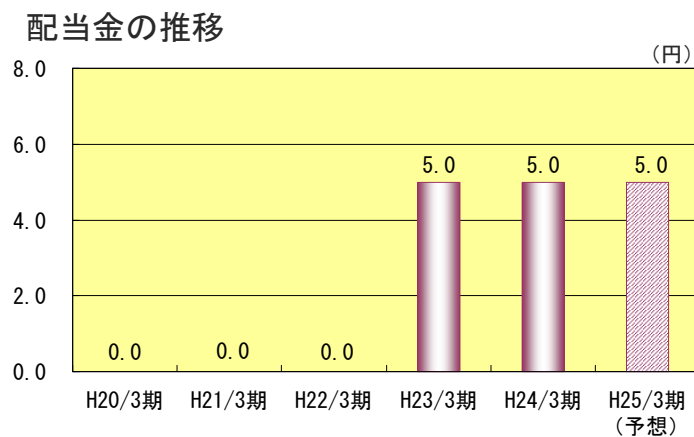
7

(7) 配当政策

利益配分については、株主および一般投資家への企業責任の重大性を十分に認識し、業績の伸長を勘案し極力配当性向を高め、かつ維持しながら弾力的な利益還元を行うとともに収益力の向上を目指し、内部留保金についても有効投資に活用し、収益向上に取り組んでいます。

(8) 利益配分の方針

平成24年3月期の配当については、1株につき期末配当金5円00銭とさせていただきました。次期の配当については、現状の業績等を考慮して1株につき年5円00銭を予定しております。今後更に、業績を向上させ安定的な配当を行うように努めていきます。



8

2. 今後の取り組みについて

(1) 経営環境

◆ 経済状況

- ・ 海外経済の改善や東日本大震災からの復興需要などにより景気回復の期待がもたれるが、為替変動や電力の供給不足により国内生産の空洞化が懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明感が払拭できない状況で推移するものと考えられる。

◆ 業界動向

- ・ 家電業界では、節電対策により、低消費電力となるエコ商品への要望が高まる。
- ・ 工作機械装置業界では、欧州の景気低迷など外需に陰りがみられるものの、安定した受注状況が続く。
- ・ 住宅設備関連業界では、被災地での復興需要が考えられるが、その回復速度は遅く緩やかな状況で推移するものと考えられる。
- ・ 半導体製造設備業界では、低調な状況が続いているが、一部で回復の兆しが見られる。

9

(2) 諸施策

・ 営業

- ・ 低消費電力、高効率のモータとポンプを中心に拡販を行う。
- ・ 新規用途の提案で新市場を開拓していく。

・ 製造、購買

- ・ 新生産管理システムの運用により、短納期生産体制の確立を図る。
- ・ 部材の共通化を進めるとともに、グローバルな部品調達によりコストダウンを図る。
- ・ 新宮工場の稼働により、生産性の向上並びに物流の合理化を進めていく。

・ 研究開発

- ・ 低消費電力のDC(直流)モータおよびポンプのバリエーションを増やし、市場ニーズや新たな用途に応える。
- ・ 国際規格(IE2、IE3)に適合した高効率モータのシリーズ化を進め、既存市場での優位性を高める。

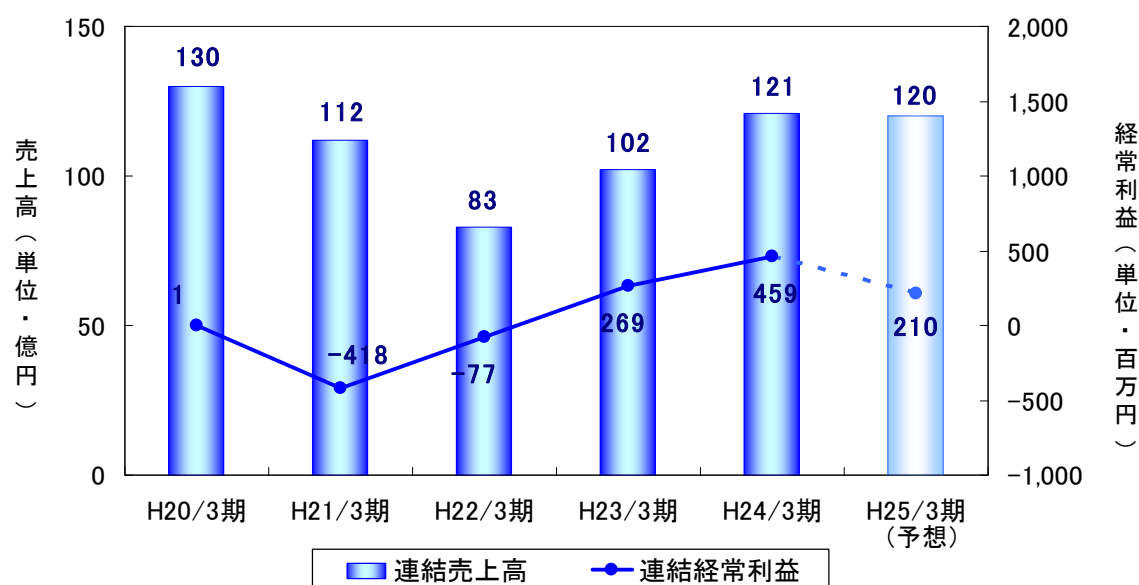
・ 品質

- ・ 製造技術を極め、均一したクオリティの製品を提供する。
- ・ 受入検査の厳格化により不適合部品の混入を防ぐ。

10

(3) 業績の見通し(連結)

[売上高・経常利益のグラフ]



連結：売上高については、世界的な景気の冷え込みにより厳しい状況が続くが、前年並みの受注を見込む。
利益面については、新工場稼働での一時的な費用増加により、減益を見込む。

11

おことわり

この資料に掲載しております将来の計画や予想数値については、現在（平成24年7月）入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであり、実績の業績などは、今後の様々な条件・要素によりここに掲載する内容と異なる場合がございます。

なお、この資料は、その実績を確約および保証するものではありませんのでご了承ください。

お問い合わせ先

三相電機株式会社
統括管理部 経理課 経営企画係

〒671-2288

兵庫県姫路市青山北一丁目1番1号

TEL 079-266-1200

FAX 079-266-1206

E-mail sanso@sanso-elec.co.jp